

高鷺地域 町民観光意識調査

実施主体	高鷺観光協会
集計・可視化	株式会社DataBake
調査期間	2026年9月21日～10月18日
データ取得日	2026-10-31
集計日	2026-11-01
版	v0.1.0（集計 2026-11-01）



調査概要

- ・ 調査方法: Google フォームによるウェブアンケート（高鷲地域の住民・出身者・勤務者が対象。任意回答）
- ・ 調査期間: 2026年9月21日～10月18日
- ・ 対象: 高鷲地域に居住・勤務している方、または高鷲地域出身の方（割付なし・任意回答）
- ・ 割付:
- ・ 回収の内訳: 本調査回収 300 / 有効 300 / 無効 0
- ・ 推計: しない（母集団推計・信頼区間を出さない）
- ・ ウェイト: なし（回答者の構成をそのまま示す）

軸（全設問に共通）

- ・ 年代別: 10代 24人／20～30代 91人／40～50代 111人／60歳以上 74人
- ・ 居住別: 先住民 152人／移住者 84人／労働者 64人
- ・ 観光従事別: 従事者 226人／非従事者 74人

n の扱い（表示制御）

- ・ 1～4: $n < 5$ のため非表示
- ・ 5～9: $n < 10$ のため件数のみ
- ・ 10～29: 参考値（ $n < 30$ ）
- ・ 30 以上: 通常表示（代表性は保証しない）

回答者の内訳

👤 集計対象 (有効回答)

300人

以下の構成比はこの人数に対する割合

🔄 回収の流れ

📅 本調査 回収

300人

👍 有効回答 (集計対象)

300人

表示 横棒 円グラフ

📅 年代別

👤 10代	24人	8.0%
👤 20～30代	91人	30.3%
👤 40～50代	111人	37.0%
👤 60歳以上	74人	24.7%

🏠 居住別

👤 先住民	152人	50.7%
👤 移住者	84人	28.0%
👤 労働者	64人	21.3%

👤 観光従事別

👤 従事者	226人	75.3%
👤 非従事者	74人	24.7%

👤 スキー場との関わり別

👤 仕事で関わっている	93人	31.0%
👤 過去に関わった・家族が関わる	83人	27.7%
👤 利用者	80人	26.7%
👤 ほとんど関わりがない	44人	14.7%

👤 居住年数別

👤 生まれてからずっと	55人	18.3%
👤 20年以上	100人	33.3%
👤 10～19年	62人	20.7%
👤 10年未満	83人	27.7%

構成比＝有効回答に対する割合。任意回答のため対象者全体の分布ではない。推計・ウェイトなし

調査結果のポイント

主要 5 点＝四象限の結果と、全体との差が大きかった順（自動選定）。今回の回答者での値（推計なし）。公開前に人が選び直し・確認する。

- 1 「20年以上」が最も多く 33.3%。次いで「10～19年」20.7%。
- 2 「若者の活躍」が最も多く 49.7%。次いで「地域経済への利益還元」49.0%。
- 3 「地域での観光消費が増えること」が最も多く 60.0%。次いで「宿泊施設や飲食店など地域事業者の売上が増えること」55.7%。
- 4 「雪道での交通事故や危険運転」が最も多く 80.3%。次いで「道路の渋滞」66.7%。
- 5 「雪道での交通・運転マナー」が最も多く 70.7%。次いで「ごみ・ポイ捨て」64.0%。

居住年数

「20年以上」が最も多く 33.3%。次いで「10～19年」20.7%。

		n	20年以上	10～19年	5年未満	生まれてからずっと	5～9年
全体		300	33.3%	20.7%	19.3%	18.3%	8.3%
年代別	10代※	24	4.2%※	54.2%※	4.2%※	25.0%※	12.5%※
	20～30代	91	24.2%	24.2%	28.6%	13.2%	9.9%
	40～50代	111	36.0%	15.3%	18.0%	22.5%	8.1%
	60歳以上	74	50.0%	13.5%	14.9%	16.2%	5.4%
居住別	先住民	152	41.4%	18.4%	2.6%	34.2%	3.3%
	移住者	84	33.3%	25.0%	21.4%	1.2%	19.0%
	労働者	64	14.1%	20.3%	56.2%	3.1%	6.2%
観光従事別	従事者	226	32.3%	20.4%	20.4%	18.6%	8.4%
	非従事者	74	36.5%	21.6%	16.2%	17.6%	8.1%

出典：Q21。区分：年代別・居住別・観光従事別（1/1 枚目）。表の色は全体との差（橙＝高い、青＝低い。±5／±10 ポイント。n≥30 の区分のみ）。数値・n は表内

最も大切にすべきこと（3つまで）

「若者の活躍」が最も多く 49.7%。次いで「地域経済への利益還元」49.0%。

		n	若者の活躍	地域経済への利益還元	自然環境	地元雇用	住民の暮らし	高驚らしさ	観光客の満足度	観光消費額	地域文化・伝統	住民の意見を観光政策に反映すること	観光客数	観光客と住民との交流	その他
全体		300	49.7%	49.0%	38.7%	36.7%	30.7%	24.3%	17.7%	12.0%	11.3%	7.3%	6.3%	2.7%	1.3%
年代別	10代※	24	33.3%※	29.2%※	50.0%※	16.7%※	20.8%※	70.8%※	16.7%※	0.0%※	33.3%※	0.0%※	12.5%※	0.0%※	0.0%※
	20～30代	91	49.5%	56.0%	30.8%	35.2%	29.7%	28.6%	16.5%	13.2%	14.3%	5.5%	5.5%	4.4%	1.1%
	40～50代	111	52.3%	52.3%	37.8%	38.7%	33.3%	10.8%	17.1%	18.0%	8.1%	9.0%	6.3%	1.8%	0.9%
	60歳以上	74	51.4%	41.9%	45.9%	41.9%	31.1%	24.3%	20.3%	5.4%	5.4%	9.5%	5.4%	2.7%	2.7%
居住別	先住民	152	43.4%	45.4%	40.1%	34.9%	36.2%	28.9%	20.4%	11.8%	11.8%	6.6%	6.6%	2.0%	1.3%
	移住者	84	51.2%	54.8%	44.0%	27.4%	39.3%	19.0%	9.5%	8.3%	10.7%	8.3%	2.4%	3.6%	0.0%
	労働者	64	62.5%	50.0%	28.1%	53.1%	6.2%	20.3%	21.9%	17.2%	10.9%	7.8%	10.9%	3.1%	3.1%
観光従事別	従事者	226	52.7%	50.0%	35.8%	37.6%	30.5%	22.6%	19.9%	12.8%	9.7%	7.5%	6.2%	2.2%	1.3%
	非従事者	74	40.5%	45.9%	47.3%	33.8%	31.1%	29.7%	10.8%	9.5%	16.2%	6.8%	6.8%	4.1%	1.4%

出典：Q17。区分：年代別・居住別・観光従事別（1/1 枚目）。表の色は全体との差（橙＝高い、青＝低い。±5／±10 ポイント。n≥30 の区分のみ）。数値・n は表内

外国人観光客への期待

「地域での観光消費が増えること」が最も多く 60.0%。次いで「宿泊施設や飲食店など地域事業者の売上が増えること」55.7%。

		n	地域での観光消費が増えること	宿泊施設や飲食店など地域事業者の売上が増えること	冬季だけでなく春～秋にも観光客が増えること	スキー場・スノーリゾートの利用が増えること	高鷲の自然・文化・暮らしの価値が海外にも伝わること	高鷲の知名度やブランド価値が高まること	地域の雇用が増えること	海外の人との交流が増えること	特に期待することはない	わからない	その他
全体		300	60.0%	55.7%	51.0%	49.3%	33.0%	30.3%	28.7%	21.0%	8.7%	2.3%	1.0%
年代別	10代※	24	62.5%※	62.5%※	54.2%※	70.8%※	41.7%※	50.0%※	12.5%※	4.2%※	0.0%※	4.2%※	0.0%※
	20～30代	91	67.0%	60.4%	36.3%	47.3%	28.6%	28.6%	19.8%	20.9%	8.8%	3.3%	1.1%
	40～50代	111	60.4%	62.2%	60.4%	54.1%	32.4%	27.0%	30.6%	20.7%	9.0%	0.9%	1.8%
	60歳以上	74	50.0%	37.8%	54.1%	37.8%	36.5%	31.1%	41.9%	27.0%	10.8%	2.7%	0.0%
居住別	先住民	152	57.9%	54.6%	46.7%	51.3%	33.6%	29.6%	28.3%	21.7%	9.2%	0.0%	1.3%
	移住者	84	60.7%	57.1%	48.8%	42.9%	32.1%	28.6%	23.8%	23.8%	10.7%	3.6%	0.0%
	労働者	64	64.1%	56.2%	64.1%	53.1%	32.8%	34.4%	35.9%	15.6%	4.7%	6.2%	1.6%
観光従事別	従事者	226	63.7%	56.2%	50.4%	50.0%	29.2%	28.8%	25.7%	19.5%	8.8%	1.8%	0.9%
	非従事者	74	48.6%	54.1%	52.7%	47.3%	44.6%	35.1%	37.8%	25.7%	8.1%	4.1%	1.4%

出典：Q14。区分：年代別・居住別・観光従事別（1/1 枚目）。表の色は全体との差（橙＝高い、青＝低い。±5／±10 ポイント。n≥30 の区分のみ）。数値・n は表内

冬季観光の課題

「雪道での交通事故や危険運転」が最も多く 80.3%。次いで「道路の渋滞」66.7%。

		n	雪道での交通事故や危険運転	道路の渋滞	雪不足・気候変動による影響	ごみ	観光客のマナー	人手不足	駐車場問題	自然環境への負荷	地域住民の生活への影響	騒音	特にない	その他
全体		300	80.3%	66.7%	60.3%	56.3%	45.7%	37.7%	20.7%	18.3%	15.0%	11.7%	3.0%	2.0%
年代別	10代※	24	75.0%※	50.0%※	50.0%※	66.7%※	33.3%※	37.5%※	25.0%※	16.7%※	8.3%※	12.5%※	4.2%※	0.0%※
	20～30代	91	83.5%	75.8%	58.2%	62.6%	49.5%	35.2%	22.0%	12.1%	17.6%	14.3%	1.1%	2.2%
	40～50代	111	81.1%	68.5%	65.8%	53.2%	49.5%	41.4%	19.8%	21.6%	15.3%	11.7%	5.4%	3.6%
	60歳以上	74	77.0%	58.1%	58.1%	50.0%	39.2%	35.1%	18.9%	21.6%	13.5%	8.1%	1.4%	0.0%
居住別	先住民	152	80.3%	61.2%	54.6%	66.4%	49.3%	36.8%	21.7%	19.1%	12.5%	9.9%	2.6%	2.0%
	移住者	84	84.5%	65.5%	71.4%	46.4%	39.3%	35.7%	23.8%	17.9%	19.0%	17.9%	2.4%	1.2%
	労働者	64	75.0%	81.2%	59.4%	45.3%	45.3%	42.2%	14.1%	17.2%	15.6%	7.8%	4.7%	3.1%
観光従事別	従事者	226	81.9%	69.9%	64.6%	57.5%	49.1%	39.8%	20.4%	19.5%	15.5%	13.3%	2.2%	1.8%
	非従事者	74	75.7%	56.8%	47.3%	52.7%	35.1%	31.1%	21.6%	14.9%	13.5%	6.8%	5.4%	2.7%

出典：Q8。区分：年代別・居住別・観光従事別（1/1 枚目）。表の色は全体との差（橙＝高い、青＝低い。±5／±10 ポイント。n≥30 の区分のみ）。数値・n は表内

観光客による困りごと

「雪道での交通・運転マナー」が最も多く 70.7%。次いで「ごみ・ポイ捨て」64.0%。

		n	雪道での交通・運転マナー	ごみ・ポイ捨て	道路の混雑・渋滞	観光客のマナー	私有地への立ち入り	自然環境への負荷	駐車場の混雑	騒音	地域住民が利用する施設・サービスの混雑	住宅・土地・物価などへの影響	特になし	その他
全体		300	70.7%	64.0%	60.3%	38.7%	38.3%	25.3%	18.0%	17.0%	16.7%	6.7%	6.0%	2.0%
年代別	10代※	24	50.0%※	75.0%※	29.2%※	33.3%※	33.3%※	29.2%※	33.3%※	20.8%※	8.3%※	0.0%※	8.3%※	0.0%※
	20～30代	91	71.4%	62.6%	67.0%	45.1%	38.5%	18.7%	19.8%	18.7%	25.3%	7.7%	4.4%	1.1%
	40～50代	111	71.2%	60.4%	60.4%	37.8%	37.8%	24.3%	16.2%	18.9%	16.2%	7.2%	6.3%	2.7%
	60歳以上	74	75.7%	67.6%	62.2%	33.8%	40.5%	33.8%	13.5%	10.8%	9.5%	6.8%	6.8%	2.7%
居住別	先住民	152	73.0%	76.3%	58.6%	43.4%	41.4%	29.6%	18.4%	17.1%	13.2%	5.3%	4.6%	2.6%
	移住者	84	73.8%	52.4%	56.0%	33.3%	41.7%	25.0%	20.2%	15.5%	21.4%	10.7%	9.5%	1.2%
	労働者	64	60.9%	50.0%	70.3%	34.4%	26.6%	15.6%	14.1%	18.8%	18.8%	4.7%	4.7%	1.6%
観光従事別	従事者	226	72.6%	65.0%	62.8%	41.2%	39.4%	25.2%	17.3%	19.9%	17.3%	7.5%	5.3%	1.8%
	非従事者	74	64.9%	60.8%	52.7%	31.1%	35.1%	25.7%	20.3%	8.1%	14.9%	4.1%	8.1%	2.7%

出典：Q4。区分：年代別・居住別・観光従事別（1/1 枚目）。表の色は全体との差（橙＝高い、青＝低い。±5／±10 ポイント。n≥30 の区分のみ）。数値・n は表内

この調査で言えること・言えないこと

言えること

- ・回答した 300 人における、観光への評価・課題・今後の意向の分布と、3 軸間の差

言えないこと

- ・高鷲地域の住民全体の意見の分布（任意回答で、観光関連の仕事に就く人の比率が高い）
- ・意見の因果（観光の仕事に就いているから支持するのか、支持するから就いているのか）
- ・観光客側の評価や実際の経済効果（本調査では聴取していない）

誤解を避けたいこと

- ・任意回答のため、回答者の構成（観光関連の仕事に就く人が半数以上）は住民全体の構成と異なること
- ・ $n < 30$ の区分（10代）の割合を全体の傾向として読ませないこと
- ・自由記述と「その他」の記入は原文を公開しないこと（個人が特定されうる）

集計方法と注意

- ・割合の分母は各設問の有効回答者 (n_analysis)。無回答は分母から除き、人数を別に示す
- ・複数回答は回答者割合（合計は 100% を超える）。クロスは横%（行＝軸区分）
- ・上限開放区間（例：50,000円以上）から平均は算出しない
- ・推計・ウェイトバック・信頼区間・検定は行わない（実態調査）
- ・n が少ないセルは表示を制御（1～4 非表示／5～9 件数のみ／10～29 参考値）
- ・本 PPTX の図と数字は HTML 報告書と同じ集計値 (aggregates.json) から生成。PPTX 側で再集計していない
- ・Excel (takasu-residents-2026_集計.xlsx) の集計セルは数式で残し、独立再計算と全セル一致を確認済み
- ・元データ SHA256: raw 730f27d25fe23ba5... / clean fd99b8a88c9b70bb...